

鬼の館 だより

北上市立

2013. 4
第38号



いろいろな鬼の絵本を読んだり、ぬり絵やお面などが自由に作れるよ!

鬼の館に遊びにおいでよ!

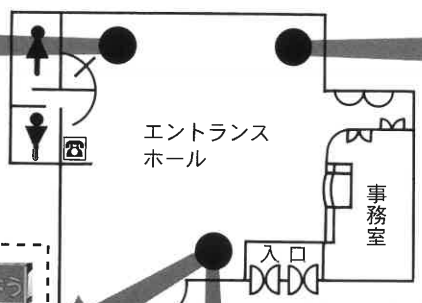
当館では「鬼ッズ・プレイミュージアム（子どもが遊べる博物館）」として、いろいろな事業を行ったり、いろいろな遊び場や体験コーナーを設けています。

鬼になったり・おにと遊んだり・オニをつくったり、「鬼と親しむ」ことを目的とし、いつでも気軽に遊んでもらおうと、エントランスホールに各種コーナーを設置しています。

<エントランスホール各種コーナー案内図>



だるま落とし、パズル、福わらいなどのいろいろな玩具で遊べるよ



鬼の館 4種のキャラクターのお面が作れるよ



いろいろな鬼の衣装が身につけられるよ
子ども用鬼剣舞の衣装も仲間入り!



鬼剣舞やカッパの和紙面づくりが体験できるよ!



福豆鬼節分会

今年はいにくの強風で天候には恵まれませんでしたが、新たにシャトルバスを運行するなどの取り組みも行った結果、延べ2,400人の来場者がありました。また、

今年は例年の鬼剣舞公演に加え、奥州市から芸能団体を招いて特別公演を行うことで、より特色のある鬼の館らしいイベントになりました。

福はあ～内！鬼もお～内！！



恒例の掛け声とともに行われた福豆まきでは、強風により豆が吹き飛ばされるというハプニングもありましたが、たくさんの観客が今年の福をつかみに訪れ、会場は大いに賑わいました♪

今年の福を巻き込めっ！



昨年よりも1m長い21mの巨大恵方巻きが、約60人の参加者によって見事に巻き上げられました！その後は来場者に配られ、今年の恵方「南南東」に向かって願いを込めながらみんなで丸かぶりしました。



新作ゲームも登場★



今年には3種類中2つが新作ということで、スタッフも試行錯誤しながらの進行となりました。先端に針のついた台車に乗って風船までの距離を競うレースでは、大人も子どもも入り混じっての白熱したバトルが繰り広げられました！



鬼についての超難問に悪戦苦闘の参加者たち。最後は一緒に勝ち抜いた地元の小学生同士の一騎打ちとなり、運を味方に付けた男の子に軍配が上がりました。

餅つき体験やおふるまいも♪



臼と杵を使った本格的な餅つき体験には沢山の子どもたちが集まり、重たそうに杵を持ちながら一生懸命餅をついている姿が印象的でした。また、つきたてのお餅は地元のお母さん方のご協力により美味しく味付けされ、来場者に振る舞われました。



受け継がれる伝統の舞…**

園児による可愛らしい舞から、岩崎鬼剣舞による勇壮で激しい舞まで幅広い世代による鬼剣舞が披露されました。中でも昨年、全国高文祭郷土芸能部門で最優秀賞を受賞した北上翔南高校の公演には、市内外から多くの観客が訪れました。



特別公演では、奥州市水沢区で活動中の「上幅庭田植踊(うわはばにわたうえおどり)」の皆さんに公演していただき、華やかな衣装で躍動感あふれる踊りを披露していただきました。普段なかなか目にすることのない他地域の芸能に、一目見ようと寒い中大勢の観客が集まり最後は盛大な拍手が送られました。

地域の力ひとつに、また来年へ



実行委員会として、会場設営から運営までを協力し積極的に行ってくれているのが、岩崎地区青年会の皆さんです。今後も沢山の方々に楽しんでいただけるイベントとなるよう、職員共々知恵を出し合い努力してまいりますので、応援よろしくをお願いします！



平成24年度鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞体験



修了証書が全員に手渡され、最後に 笑顔で記念写真を撮りました

今年度の鬼剣舞体験は、市内の4歳児から小学校6年生までの20人の子どもたちが集まり、発表会を含む全6回の講座を受講しました。中には、何年か連続で参加している子どももあり、初めて習うお友達に教えるなど仲良く練習に取り組んでいました。当日は悪天候の中での発表となりましたが、寒さに負けず元気よく声を出すなど力強い踊りを披露し、発表が終わると保護者や観客から大きな拍手が送られていました。

謝辞 照岡小学校6年 熊谷 飛龍



みなさん今日のぼくたちの踊りは、いかがだったでしょうか。

僕は鬼の館で鬼剣舞を習ったのは、3年生の時からです。今年で4年目になりました。舞に使うお面は白、黒、赤、青、黄と5つの色があり、手作りのお面は毎回ちがう色にしました。お面一つひとつの色に意味があり、とても興味を持ちました。

北上の伝統芸能の鬼剣舞をこれからも学び、たくさんの人に教えていきたいと思っています。やさしく指導してくれた岩崎鬼剣舞のみなさん、鬼の館のみなさん、忙しいなか送り迎えをしてくれたお父さん、お母さん、本当にありがとうございました。

☆練習用木刀が贈られました！☆

1月30日、岩崎鬼剣舞保存会の高橋見一氏から、練習用木刀26本とケースを寄贈していただきました。今までの練習では竹を切ったものを使用していましたが、太さや長さが異なっていることやささくれ等も生じてきていました。軽くて練習しやすいこの木刀をいただき、鬼の館職員一同深く感謝しております。ありがとうございました。



平成24年度鬼学講座

専門家の講演や現地見学を通じて鬼の原像を追求する「鬼学講座」を今年も実施しました。通算16年目の今年、**「人々によって生まれた鬼の文化」**をテーマに、身近なところに潜む鬼の姿について全5回講座で学習しました。

初回は、「魔除け 厄除け」と題して北上市立博物館専任研究員の中田功一先生に共同祈願や個人的な神頼みなどを紹介いただきました。豊富な調査記録等を披露いただき、会場からは実体験と合わせて納得の声が聞かれました。

第3回はみちのく民俗文化研究所代表の岩崎真幸先生に、山や聖地に見られる習俗から柳田国男が提示した「祖霊」についての紹介をいただきました。市民憲章に「あの高嶺 鬼すむ誇り」と謳う私たち北上市民にとって、山と祖霊は見過ごすことのできないテーマです。時代を経て他界と現世の捉え方が変わってきていることも紹介いただき、新たな興味関心が生まれた講座となりました。

以上のほか、福士壽一先生（弘前学院大学非常勤講師）

による津軽の鳥居の鬼コの紹介や、当館元上席主任学芸員鈴木明美先生（宮城学院女子大学非常勤講師）による冬の農耕儀礼の紹介、移動学習では東北歴史博物館（宮城県多賀城市）で開催していた特別展「みちのく鬼めぐり」を見学するなど、実り多い講座となりました。



冬休みワークショップ

今回は「ようかいランプ」、「鬼ツズチェアー」、「鬼一ホルダー」づくりの3つに挑戦していただきました。その中の「鬼一ホルダー」づくりは、加熱すると収縮作用のあるプラスチック板やペットボトルを利用して、鬼や妖怪のマスコットやビーズなどを作っていくものでした。それぞれのパーツをオーブントースターで加熱していくと、クルッと丸くなったり縮んでいく様子に、初めて見る子供たちは驚きの声を上げ、出来上がりに満足の笑顔を見せていました。

<ようかいランプ>



牛乳パックが
素敵なランプ
に生まれ変わ
ったよ

<鬼ツズチェアー>



組み立てから塗装
までの本格いす作り

<鬼一ホルダー>



ペットボトルで
ビーズを作ったよ

3年間お世話になりました。

このたび3月31日をもって退職することとなりました。

鬼の館は、小学生の時に私の住む岩崎地区に建てられた施設です。見学はもちろん、小学校で活動していた鬼剣舞を踊った場所であり、父親が鬼剣舞保存会に属していることもあったので芸能公演をよく見に来ていたなど、馴染みの深い場所でした。そんな鬼の館で3年間、専任研究員として勤めさせていただくこととなり、たくさんの思い出を作ることができました。

私の主な仕事は工作づくりのワークショップ、合宿・鬼剣舞体験といった鬼っこわんぱく講座など、主に子どもを対象とした事業を行うことでした。事業企画や指導をする仕事は初めての経験で、はじめは子どもに何をどう教えればいいのか・・・という不安で、未経験な私にとっては困惑することばかりでした。しかし職

— 専任研究員 八重樫美幸 —

員のアドバイスを受けながら進めていくうちに、子どもの笑顔や喜ぶ姿が嬉しくなり、もっと楽しんでいただきたいという気持ちとともに、私自身も仕事を重ねていくごとにどんどん楽しくなっていました。

今年は、エントランスホールに、気軽にできる鬼の遊び場を考え、設置させていただいています。鬼の館の催しや遊び場での創作・体験活動を通して鬼に関心を持っていただきたいこと、また他の学校のお友達と交流できるいい機会と思いますので、気軽に利用していただければと思っています。

協力していただいた鬼の館職員をはじめ、地域の方々に支えながら楽しく仕事をさせていただいたことに感謝し、最後の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

収蔵資料紹介

当館では鬼に関する様々な資料の収集を進めていますが、平成23年度に収集した資料（一部）の公開を始めましたのでご紹介します。

資料名：茶屋町の鬼面（岡山県倉敷市）

数量：2点

岡山県倉敷市茶屋町では、毎年10月の第2日曜日に茶屋町の鬼まつりというお祭りがおこなわれます。この祭りの由来について詳細な資料が残っていないようですが、天保の銘を記した面が伝承されていることから、200年以上の歴史があると推察されます。吉備津彦の鬼退治伝説がもとになっているとも言われ、赤い衣装に家紋を付けた胸あて、高歯の下駄の装束で沢山の鬼が町を闊歩します。一時途絶えたものを昭和50年に地元有志の方の熱意で復活させたものです。

平成23年に京都府で行われた「日本『鬼文化』交流祭典」において、当館スタッフが茶屋町の鬼面に魅了され、製作を依頼し展示が実現しました。

こちらの資料は、常設展示室「日本の鬼まつり」コーナーに展示中です。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



平成25年度の事業のお知らせ

○鬼学講座

10月～1月（5回講座）
テーマ：日本人の他界観

○鬼っこわんぱく講座

5月5日 こどもの日わくわくイベント
6月～8月 鬼剣舞を探ろう
1月～2月 鬼剣舞体験

○鬼ッズ・プレイミュージアム

7月～8月 夏休みワークショップ
12月～1月 冬休みワークショップ
随時 張り子面づくり

○特別展「鬼と玩具と土産もの」

4月27日(土)～8月18日(日)



紙メンコ（当館蔵）

○企画展「私たちの鬼剣舞」

8月31日(土)～11月17日(日)

○展示室市民開放事業

12月14日(土)～3月9日(日)

○逢魔が時ナイトミュージアム

8月中旬 時間を延長して開館
民俗芸能公演も予定

○鬼の館芸能公演

4月～10月の第4日曜日その他
5/3・4、6/2、8/14、
10/6

○第19回大乘神楽大会

6月9日(日)

○福豆鬼節分会

平成26年2月2日(日)



鬼の里だより

●企画展・特別展

<企画展>「魔よけ」
8月11日(土)～11月11日(日) 5,670人
<特別展>よろず伝承展「鬼とよばれたモノたち」
12月15日(土)～3月10日(日) 4,057人

●福豆鬼節分会

2月3日(日) 入場者 2,400人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 10月1日～3月31日

和紙面づくり 参加者 35人
出前講座件4件 参加者 84人

<冬休みワークショップ>

魔よけストラップ作り 10月21日(日) 参加者 7人
ようかいランプ 12月23日(日)・1月5日(土) 参加者 55人
鬼ーホルダー 12月27日(木)・1月8日(火) 参加者 88人
鬼ッズチェアー 1月10日(木) 参加者 26人

●鬼の館芸能公演

10月7日 鬼柳鬼剣舞め組 観客 146人
岩崎おなご鬼剣舞
10月28日 相去鬼剣舞 観客 180人

●鬼っこわんぱく講座

鬼剣舞体験
1月6日(日)・13日(日)・20日(日)・27日(日)
2月2日(土)・3日(日)全6回講座 参加者 20人

●鬼学講座

第1回 「魔除け 厄除け」 講師:中田功一氏
10月27日(土) 受講者 31人
第2回 東北歴史博物館企画展「みちのく鬼めぐり」
見学等(移動研修)
11月4日(日) 受講者 28人
第3回 「祖霊」について 講師:岩崎真幸氏
11月25日(日) 受講者 26人
第4回 津軽の鳥居の鬼コについて 講師:福士壽一氏
12月9日(日) 受講者 23人
第5回 冬の農耕儀礼 講師:鈴木明美氏
1月20日(日) 受講者 20人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

休館日 ・12月～3月の月曜日
・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
・館内整理日(11月27日～11月30日)
・年末年始(12月28日～1月4日)

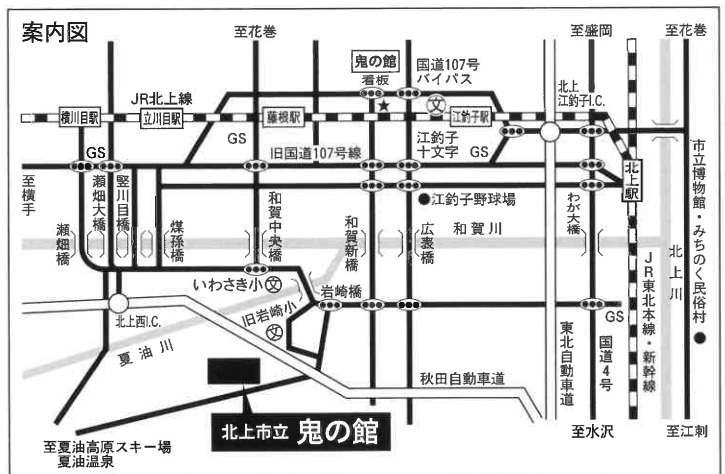
入館料

一般	500円(400円)
高校生	240円(180円)
小中学生	170円(120円)

()内は20人以上の団体料金。

交通利用

- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」
下車徒歩10分。
- ・JR北上駅より車で20分。
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」、
秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに
車で15分。



北上市立鬼の館だより

第38号 2013.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508